

カサによる擦れ
傷防止・目印に

葡萄のカサ掛け保護器具 PAT.P

カサジゾウ

JAPAN PEERLESS INDUSTRY

3つの
特徴

point 01

ジベレリン
処理済の目印に



早期のカサ
掛けにより
晚腐病を予防

point 02

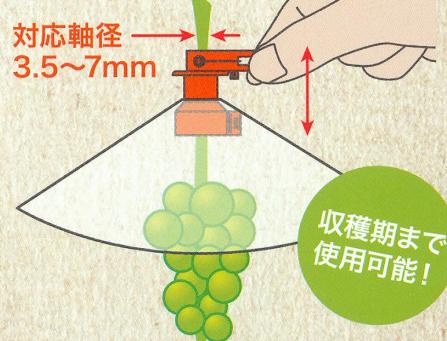
果粒と穂軸の
擦れ傷を防止



point 03

カサの高さを
自由に移動可能

つまみを緩てカサの位置を
簡単スライド



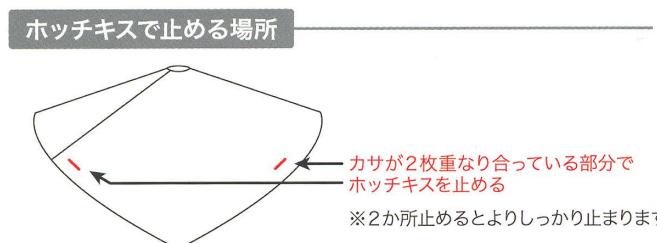
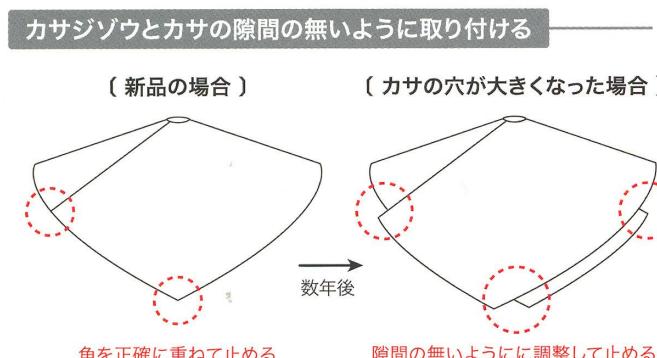
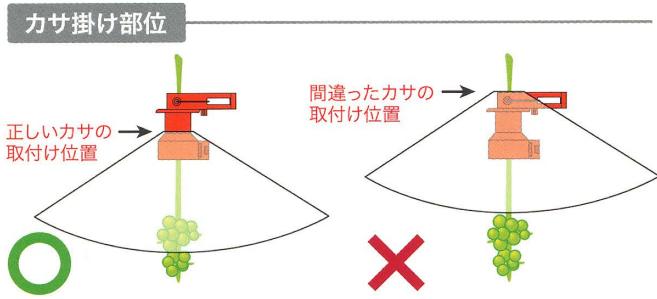
摘粒時や農薬散布時に邪魔にならない場所へ

商品名 カサジゾウ
材質 樹脂 ASA バネ ステンレス
色 オレンジ（紫、青）
対象作物 露地ブドウ

対応軸径 3.5~7mm
使用時期 ジベレリン処理時～収穫期（カサ掛け時期は2回目のジベレリン処理後）
入数 1ケース 250 個 ×8 袋
使用カサ デュポン™タイベック®傘（カサジゾウ専用カサをご使用下さい。）

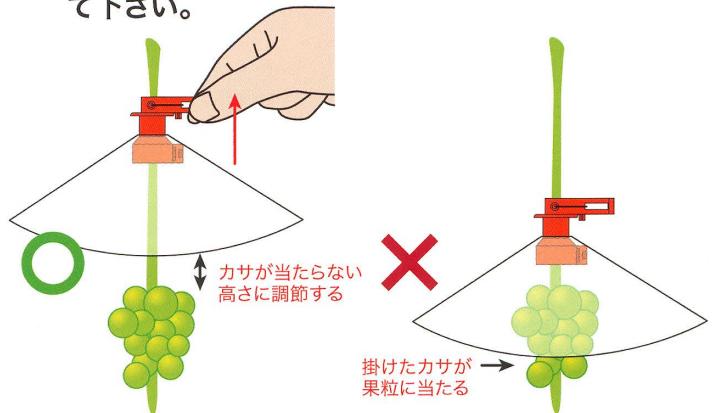
使用上の注意点

- ① 器具のカサ掛け部位とカサ穴の間に、隙間が出来ないように、カサの角と角をきっちり重ねてホッチキスでしっかりと止めて下さい。



- ② 風雨でカサが動いた際に隣の房に当たらないように、十分な間隔を空けて設置ください。

- ③ カサが下の果粒に当たらないような高さに設置して下さい。



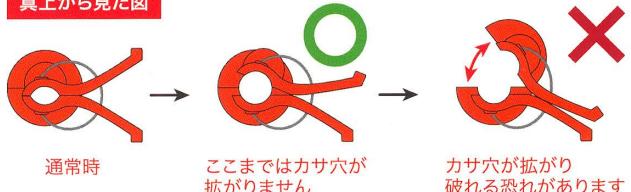
- ④ カサはカサジゾウ専用の穴あきデュポン™タイプベック®カサをご使用下さい。

- ⑤ カサ掛け時期は2回目のジベレリン処理以降です。
(カサをかける時期が早いと果房が柔らかく傷つけることがあるのでご注意ください。)

- ⑥ カサ移動する際に無理につまみを緩めすぎると、器具が破損したり、カサ穴が拡がり破れる恐れがあるのでご注意下さい。

(目安としてはカサをかける部位が開かない程度までです。)

真上から見た図



説明

ブドウの晩腐病の予防には早期のカサ掛けによる雨よけが有効です。しかし早期の穂軸や果房は非常に細く柔らかいため、風雨により、カサが動いたり回転するなどし、穂軸や果房の肩の粒に擦れ傷がつきやすいといった問題がありました。

これらの問題を解決するためにカサジゾウを開発致しました。

カサジゾウは適度なバネ圧で穂軸に固定することができ、器具の上からカサ掛けすることで穂軸に直接カサが触れないように保護することができる所以穂軸の擦れ傷を防ぐことができます。

また、カサ掛けした後も本体のつまみを緩めることで、カサの高さを自由にスライド移動し固定することができます。

この機能により、カサによる果房の肩の粒への擦れ傷を防止したり、摘粒時や農薬散布時に邪魔にならない場所にカサを移動することも可能になります。



※デュポン™及びタイプベック®は、米国デュポン社の商標または登録商標です。